

週案 2年保育 4歳児 第27週 11月14日(月) ~ 11月18日(金)

検 印	園 長	副園長	主任教諭

先週までの幼児の姿	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>共通のイメージの中で、自分の思いや考えを表現していく楽しさを味わう。</li> <li>秋の自然を肌で感じながら、遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>		内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の思いを伝え合い、遠足ごっこをして遊ぶ。</li> <li>身近にある木の実や葉を遊びに取り入れ、自分なりに工夫したり、まわりの友達の遊びに刺激を受けたりしながら遊ぶ。</li> </ul>						
		行事	14日(月)		15日(火)	16日(水)	17日(木)	18日(金)			
共に育ち合うための配慮点	<ul style="list-style-type: none"> <li>年長児とのかかわりの中で、自分の思いや考えを伝えられるように援助していく。また、一緒に活動する楽しさを感じられるようにしていく。</li> </ul>	県民の日	<ul style="list-style-type: none"> <li>共通のイメージで友達と遊ぶ → (えんそくごっこ など)</li> <li>秋の自然に触れて遊ぶ → (ドングリ拾い、虫探し、 など)</li> <li>思い切り体を動かして遊ぶ → (鬼ごっこ、円形ドッジボール、鉄棒、なわとび など)</li> </ul>								
歌と手遊び	歌 山の音楽家 ダンス さんぽ	環境構成と教師の援助	<ul style="list-style-type: none"> <li>役割を考えて決めたり、協力して活動を進めていたりしている姿を認め、一人一人が役割をもって遊びが進められるようにする。</li> <li>「〇〇しよう」「〇〇したらどうかな」など、自分の思いやイメージを相手に伝えながら遊ぶ姿を大切に見守る。</li> <li>自分が言葉を投げかけても相手が気付かない時もあるので、そのときは思いを教師が受け止め、「〇〇ちゃんがこう言っているよ」と、橋渡しをすることでイメージが伝わり合う楽しさが味わえるようにしていく。</li> <li>年長児と一緒に活動する姿を認め、教師も仲間の一人として参加しながら、「みんなと一緒に遊ぶと楽しい」という気持ちを育てていく。</li> <li>給食も縦割りで食べられるようにし、一緒に遊びを進めてきた年長児とのかかわりが深められるようにする。</li> <li>ルールのある遊びでは、幼児が理解できるように伝えたり、友達同士教え合ったりするようにする。</li> <li>遊びの中で、必要な決まりやルールがあることに気づけるようにし、守って遊ぶ大切さを伝えていく。</li> <li>秋の自然物を使った遊びを紹介し、楽しさやおもしろさ、不思議さや驚きなど教師も遊びながら共感していく。</li> <li>気温に応じて、自分で衣服の調節ができるように言葉をかけていく。</li> </ul>								
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達に自分のイメージを伝え、思いを伝えたりしながら楽しく遊んでいたか。</li> <li>秋の自然を肌で感じながら遊ぶことを楽しんでいたか。</li> </ul>		反省								
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達に自分のイメージを伝え、思いを伝えたりしながら楽しく遊んでいたか。</li> <li>秋の自然を肌で感じながら遊ぶことを楽しんでいたか。</li> </ul>										